

辰巳小だより

江東区立辰巳小学校
校長　景山　賢治
学校だより第７号
令和８年１０月２９日
（ホームページアドレス）http://tatsumi-sho.koto.ed.jp

温かなつながりが育む、辰巳小の魅力

校長　景山　賢治

今年度の運動会は、新たに団体競技を加え、こどもたちの活躍の場をさらに広げます。ぜひ、こどもたちにたくさんの声援を送っていただくとともに、お子様のがんばりをたくさん認め、褒めてあげてください。

さて、先月の学校公開には、大勢の保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。普段の授業や外部講師による特別授業など、こどもたちが生き生きと学ぶ姿をご覧いただけたことと思います。皆様からこどもたちへ温かいメッセージをたくさんお寄せいただき、重ねて感謝申し上げます。

今回の学校公開に合わせて行った道徳授業地区公開講座では、代表委員会児童の提案で『みんななかよし大作戦』を実施しました。これは、江東区こどもの権利に関する条例に則り、本校の道徳教育・人権教育を保護者や地域の皆様に伝え、連携してこどもを守り育てる意識を高めるための取り組みです。通常、こうした機会に行う講演会の参加者は 20 名程にとどまることが多いのですが、今回は１００名近い保護者の方にご参観いただきました。活動では、代表委員がスライドを使って「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」についてクイズを交えて解説しました。その後、一人一人が「ふわふわ言葉」を葉っぱのカードに書き、縦割り班ごとに『ふわふわ言葉の木』を作りました。現在、職員室前に掲示してあるその木には「ありがとう」「いいね」「思いやりがあるね」「さすが」「上手だね」「やさしいね」「だいじょうぶ」「いっしょにやろう」「大好き」「よかったね」「おめでとう」「これからもよろしく」といった言葉があります。こうした言葉が学校生活の中にたくさん満ちていれば、いじめや仲間外れなどは、絶対に起こらないと信じています。

実は、この学校公開中に、来年度入学予定児童の保護者向けに学校説明会を行いました。その際、「辰巳小に通うことの良さ」が話題に上りました。近隣の小学校と比べると、本校は児童数が少ないという特徴がありますが、私が考える本校の良さは「６年間を通じて、友達や先生方と深く関わることができること」です。クラス替えがないことを心配される方もいらっしゃいますが、時間をかけて互いの理解を深め、大人になっても付き合える、一生の仲間になれる良さがあります。事実、本校では児童同士の深刻なトラブルはほとんどなく、保護者の方から重大な悩みや相談を受けることも、ほとんどありません。担任だけでなく、専科や講師の先生、学習支援員など、たくさんの大人の目が一人一人に届きやすい環境だからこそ、小さな成長を捉え、学習のつまずきや友達関係の変化にも素早く気付き、対応することができます。また、大きな集団に埋もれることなく、学習や行事で役割や出番が回ってきやすいため、責任感やリーダーシップを養う機会に恵まれています。さらに、校庭で伸び伸びと遊べること、辰巳の森緑道公園で全校遠足や生活科探検ができること、辰巳駅が近いため電車を利用した生活科見学や社会科見学に行きやすいことなど、恵まれた環境も強みです。このように安心して学べる温かい環境こそが、こどもたちの「好き」を育み、「得意」なことを存分に伸ばせる土壌であると思います。

本校の良さをさらに生かすため、運動会の団体競技や『みんななかよし大作戦』のほかにも、辰巳駅通路での作品展示、新たな全校遠足の実施、全担任の研究授業による「辰巳小授業スタイルの確立」などを進めています。

１１月には、児童と保護者の皆様を対象とした学校評価アンケートを実施します。本校をさらに魅力あふれる学校にしていくために、皆様からの建設的で率直なご意見やアイデアをぜひお寄せください。これからも学校と家庭が手を取り合い、ともにこどもたちを育んでまいりましょう。